

市町村名	与那原町							
平成 2 4 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	10－②	水産加工品ブランド定着化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ			
担当部課名	農水環境安全課（旧産業振興課）	事業実施（予定）年度	平成 2 4 ～ 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興」			
事業内容	特産品のひじきや、水揚量の多いソデイカなどを活かした付加価値の高いブランド加工品開発により、漁獲・加工・販売の6次産業化の支援を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,500	0				
		(b) 予算現額	4,500	0				
		(c) 増減額 (b-a)	0	0				
		(d) 繰越額	－	4,500				
		A. 計 (b+d)	4,500	4,500				
	B. 執行済額		0	2,773				
	うち交付金充当額		0	2,218				
	次年度繰越額		4,500	0				
	執行率（％）(B/A)		0.0%	61.6%				
予算の状況の説明		繰越理由としては、加工品開発にあたり、有識者から商品化につながるよう市場調査を併せて実施するよう意見があり、その調整等に日数を要したため、繰り越すこととなった。 執行に当たっては、試作品の販売等の実施についての計画変更を行ったため執行額に差が生じている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	ブランド加工品試作品の製作	目 標	（ 5品 ）					
		実 績	4品					
		目 標						
		実 績						
達成状況説明	事業計画では、マグロも含めた5品となっていたが、本町で主に水揚される水産物の種類等を勘案し、委託業務を実施する際に4品（ひじき、ソデイカ、トビイカ、シイラ）へ変更し、委託発注を行った。 事業でできた商品は、「ひじきじゅーしーの素」「セイイカ(ソデイカ)燻製」「トビイカの一夜干し」「マンビカー(シイラ)の煮つけ」の4品							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）			基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（29年度）
	ブランド加工品試作品の製作	目 標	（ 1品 ）	（ 5品 ）				（ 5品 ）
		実 績		4品				2品
	【参考指標】 4品の合計販売個数	目 標						（ 3,000個 ）
		実 績					1,044個	3,234個
	進捗状況説明	目標最終年度の平成29年度の「ひじきじゅーしーの素」の売り上げは、2,711個、ひじきの佃煮523個で合計3,234個となり、平成26年度の約3倍になった。残り3品については、トビイカとシイラは漁獲量の低下、ソデイカは販売価格の高騰により原材料として利用できなくなったため生産販売に至っていない。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業当初水揚げが多かったシイラとトビイカの水揚げが低下し、商品として利用できない状況になった。また、ソデイカについては、取引単価が高騰したため、原材料と価格が合わず商品化が厳しい状況になった。	商品化が厳しい3品については、現状の漁獲量や価格高騰が改善された時に再度商品として検討していく。「ひじきじゅーしーの素」については、順調に売り上げを伸ばし、顧客が定着しているところもあるが、観光土産品としての周知をして更なる販売増が必要。
今後の取り組み方針		
ファーマーズを中心に販売店舗を広げ、地元客の顧客や観光客の獲得をしてきている。今後の販売としては、ファーマーズを訪れる観光客だけでなく、ほかの観光施設でも商品を販売し、沖縄の天然ひじきを使った沖縄の家庭料理を多くの人に食べていただけるよう販路を広げ、売り上げ増につなげる。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>2,774</td><td>2,774</td><td>2,218</td><td>556</td><td>0</td></tr></table> 与那原町 2,774千円 委託料 2,774千円 与那原・西原町漁業 協同組合 2,774千円 〔特産品開発に係る委託業務〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,774	2,774	2,218	556	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,774	2,774	2,218	556	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業費目・使途については、事業達成の観点からも必要であり、額の確定時において、支出等に関する調書により正確かつ適正であった。 ○委託事業については、地方自治法施行令167条の2第7号により「時価に比して著しく有利な価格で契約を締結する見込みがある」とし、随意契約を行った。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												